

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門過程	看護学科	夜・通信	240 時間	270 時間	
	柔道整復スポーツトレーナー学科	夜・通信	320 時間	330 時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	160 時間	210 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>ホームページにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関する確認欄あり。 (掲載 https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou/syllabus)</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人 大阪滋慶学園ホームページにて公表している。 (掲載 http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/img/2019yakuin.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 日本販売企画 代表取締役	2018年6月1日 ～2021年 5月31日	適切な情報収集
非常勤	学校法人 東京滋慶学園 理事長	2019年6月1日 ～2021年 5月31日	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名（学部等名）	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校シラバスについては、学園統一の様式においてシラバスを作成している。各授業科目については、授業形態や授業科目における学習内容、成績評価の方法と基準、使用教材などに加え、各授業に対する到達目標やそれらに対応する授業内容（予定）について、詳細に記載することとなっている。例年、学期開始前に講師会議を実施し、学校・各学科の各年度における運営や教育における目標を共有し、各学科における学年ごとの到達目標や科目目標を共有し、各担当科目講師ごとに作成している。</p> <p>特に卒業年次に国家資格を受験する学科においては、国家試験対策を兼ねていることから担当する学科の国家試験問題を確認するなど、その内容を授業に反映するように共通認識を持つようにしている。また試験規程や成績評価についても規程を基に統一見解をもつようにし作成している。</p> <p>シラバスの公開については、各年度開始までにホームページを通じて公開するとともに各授業毎に担当講師によって公開することとしている。</p>	
授業計画の公表方法	https://www.msmn.ac.jp/gakko/jouhou/syllabus
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の成績評価については、各科目において、試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して評価し履修認定している。またレポートや実技試験などに対する評価も同様に評価することとしている。ただし、各授業科目の授業時数の3分の1以上を欠席した者は、当該授業科目についての評価を受けることができない。</p> <p>また学習意欲の把握については、学期毎にカリキュラムアンケートを実施し、学生による授業評価を実施している。それらアンケートには、学生自身の学習に対する姿勢についても確認する項目も設定しており、それらから把握している。</p> <p>これら事項については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める試験規程（成績評価基準）により、試験に関する諸規定ならびに学習の評価について、詳細に記載している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学習の評価基準は、素点 70%、出席評価点 20%、平常評価点 10%としている。それら評価基準を基に学習の評価を優 (80 点以上)、良 (70 点以上 80 点未満)、可 (60 点以上 70 点未満)、不可 (60 点未満) としている。 またG P A (GP : Grade Point Average) 評価に関しては、評価結果を 5 段階評価 (A から E) に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数 (GP : Grade Point Total) に置き換え、各学生個人の GP を算出し、各学科の成績分布を示している。 なお成績評価方法については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める試験規程 (成績評価基準) により、試験に関する諸規定ならびに学習の評価について、詳細に記載し下記 URL にて公表するほか、入学時のオリエンテーションにて学生には通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/other/004.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業認定を実施している。 また卒業時の人材育成目標については、ディプロマ・ポリシーを策定し、ホームページ上で公表している。 またこれらの認定に関する事項については、教育指導要領ならびに学生便覧に定める課程の修了の認定において、詳細に記載し下記 URL にて公表することとしている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/other/002.pdf https://www.msmn.ac.jp/wp-content/themes/bsc-pc/img/gakko/jouhou/edu_goal/001.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	美作市スポーツ医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/04taisyaku.html
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/01shikin.html http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/03jigyoku.html
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/05zaisan.html
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/img/2019jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/06kansha.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3045 単位時間／97 単位	2190 時間	0 時間	855 時間	0 時間	0 時間
3045 単位時間							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		52 人	0 人	7 人	23 人	30 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）昼間部3年制にて前期・後期の2期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義、実習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法
（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して4段階の学習の評価をしている。またGPA評価については、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP：Grade Point Total）に置き換え、GPを算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業並びに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等
（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを各科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。また状

況を判断し、学生面談のみでなく保護者や学科責任者を踏まえ面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
－ 人 (100%)	－ 人 (%)	－ 人 (%)	－ 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項) 2018年4月開講のため、卒業生はいない状況である。			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	3 人	7.9 %
(中途退学の主な理由) 入学前からの精神持病のために退学（1）、自己都合のため（2）		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。 入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。 また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門	柔道整復スポーツトレーナー学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4065 単位時間 / 164 単位	2520 時間	375 時間	300 時間	0 時間	870 時間
			4065 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		9 人	0 人	5 人	7 人	12 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）昼間部4年制にて前期・後期の2期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義、演習、実習、実技にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法
（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して4段階の学習の評価をしている。またGPA評価については、評価結果を5段階評価（AからE）に置き換え、その評価を4から0までの点数（GP：Grade Point Total）に置き換え、GPを算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業並びに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等
（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを各科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。また状況を判断し、学生面談のみでなく保護者や学科責任者を踏まえ面談を実施し、積極的な学修の支援に当たっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
— 人 (100%)	— 人 (%)	— 人 (%)	— 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本赤十字社 救急法救急員、スチューデントトレーナー中級資格			
(備考)（任意記載事項） 2018年4月開講のため、卒業生はいない状況である。			

中途退学の現状		
2018 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	1 人	14.3 %
(中途退学の主な理由) 学力的問題のため退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) <p>クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。</p> <p>入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。</p> <p>また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉分野		教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2122 単位時間／99 単位	1350 時間	690 時間	472 時間	0 時間	0 時間
			2122 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		6 人	0 人	2 人	6 人	8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）昼間部 2 年制にて各期の 2 期制にて運営している。授業運営については、授業毎に担当教員がシラバスを作成し実施している。授業内容は、主に講義、演習、実習にて構成されており、学科申請時の講義予定表に基づき運営している。
成績評価の基準・方法
（概要）学習の評価基準を基に試験の成績、平素の学習状況、出席状況等を総合的に勘案して 4 段階の学習の評価をしている。また GPA 評価については、評価結果を 5 段階評価（A から E）に置き換え、その評価を 4 から 0 までの点数（GP : Grade Point Total）に置き換え、GP を算出し、各学科の成績分布を示している。
卒業・進級の認定基準
（概要）所属する学科において、その課程が定める修業年限以上在学し、所属する全課程の修了の認定を受けた者について、卒業判定委員会が開催する卒業判定会議の議を経て、卒業並びに国家試験受験資格を認定している。
学修支援等
（概要）学生の修得状況の把握のために小テストなどを各科目ごとに実施している。クラス担任制を引いていることから、個別面談の実施や教育的指導を行う。また状況を判断し、学生面談のみでなく保護者や学科責任者を踏まえ面談を実施し、積極的な

学修の支援に当たっている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
－ 人 （100%）	－ 人 （ %）	－ 人 （ %）	－ 人 （ %）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項） 2018年4月開講のため、卒業生はいない状況である。			

中途退学の現状		
2018年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
－ 人	－ 人	－ %
（中途退学の主な理由）		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>クラス担任制をひき、学生に寄り添った指導を心掛けている。また入学当時に学生の様々な状況を把握し、学校生活の指導に活用するため「学生サポートアンケート」を実施し、各個人がどのような場面において厳しい局面を向かえるかを把握し、日々の学生生活の上で面談などの指導に役立て、中途退学の防止に努めている。</p> <p>入学した学生の中には、将来の職業に対して強い意志を持っているが、勉強を苦手とする学生が存在することから、授業内において確認テストを実施し、結果の芳しくない学生については、補講を実施し基礎学力の向上に努めている。</p> <p>また学園内に進路変更委員会を設置しており、現在学んでいる学科以外に興味関心がある学科への進路変更などをサポートするシステムによって中退者の支援も行っている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	実習費	設備費	教育教材 演習費	合計
看護学科	100,000円	700,000円	200,000円	100,000円	85,000円	1,185,000円
柔道整復スポーツ	100,000円	800,000円	200,000円	100,000円	85,000円	1,285,000円

トレーナー学科						
介護福祉学科	100,000円	700,000円	200,000円	100,000円	75,000円	1,175,000円
修学支援（任意記載事項）						
大阪滋慶奨学金	入学者本人、または親兄弟姉妹が本校を含む大阪滋慶学園に在籍、卒業している場合、奨学金の10万円を支給する。					
業界推薦奨学金	業界推薦入試の条件を満たし、業界推薦入試で受験合格し、入学手続きをする者に対し、奨学金の5万円を支給する。					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>本校は、2018年4月に開校したところであり、本年度中に自己点検・自己評価を実施する予定としております。なお点検項目と評価結果の公表については、本校ホームページにて公表することとしています。</p>		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>まず自己点検・自己評価を実施し、評価結果を踏まえその評価が適切に行われているか、当該学校の関係者に評価していただく。学校関係者の学校への理解の促進と連携協力により、学校運営の改善を図ることを目的としている。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 岡山県看護協会	2年	職能団体
公益社団法人 岡山県柔道整復師会	2年	職能団体
一般社団法人 岡山県介護福祉士協会	2年	職能団体
大原地区自治振興協議会	2年	地域
学校法人 美作学園 岡山県美作高等学校	2年	高等学校
学校関係者評価結果の公表方法		
<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>本校は、2018年4月に開校したところであり、本年度中に自己点検・自己評価を実施し、それら評価結果を踏まえ学校関係者評価委員会を実施する予定としています。なお評価結果の公表については、本校ホームページにて公表することとしています。</p>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>https://www.msmn.ac.jp</p>
